



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場会社名 栗林商船株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9171 URL http://www.kuribayashishosen.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗林 宏吉  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 小谷 均 TEL 03-5203-7982  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	23,240	△0.6	442	7.4	409	△7.4	256	6.8
26年3月期第2四半期	23,375	8.0	412	72.5	441	122.5	240	△71.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 297 百万円 (△72.9%) 26年3月期第2四半期 1,099 百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	20.37	—
26年3月期第2四半期	19.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	52,104	12,865	19.9
26年3月期	50,750	12,638	20.2

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 10,349 百万円 26年3月期 10,250 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	△0.6	1,200	△8.6	1,000	△22.3	900	20.6	71.43

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期2Q	12,739,696株	26年3月期	12,739,696株
② 期末自己株式数	143,144株	26年3月期	141,739株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	12,597,269株	26年3月期2Q	12,600,529株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
5. 補足情報	11
(1) 最近における四半期毎の業績の推移(連結)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動や夏場の天候不順の影響もあって個人消費は引き続き鈍い状態が続きましたが、企業収益や雇用情勢の改善などを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方海外では、米国を中心に回復基調にありますが、中国経済における成長ペースの鈍化、不透明な中東情勢、欧州の債務問題等による景気の下振れが懸念されます。

この様な経済情勢の中、当社グループは、海運事業において、一部、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動による貨物量の減少はあったものの、雑貨輸送の集荷に努めたこと、燃料油価格も予定していた価格を下回ったことで、概ね順調に推移いたしました。ホテル事業においては、客室改装等により客単価は上昇しましたが、消費税増税、円安の進行に伴い、特に北海道内の景気回復の立ち遅れの影響で苦戦いたしました。不動産事業は、概ね順調に推移いたしました。

事業セグメント毎の業績概況は、次のとおりであります。

#### (海運事業)

当第2四半期連結累計期間は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動による太宗貨物の減少はあったものの、雑貨輸送等の集荷に努めた結果、売上高は前第2四半期連結累計期間に比べて2千9百万円減(0.1%減)の219億6千7百万円となり、営業費用は前第2四半期連結累計期間に比べて1億6千2百万円減(0.7%減)の216億1千7百万円となったことから、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べて1億3千3百万円増の3億4千9百万円となりました。

#### (ホテル事業)

当第2四半期連結累計期間は、消費税増税、円安の進行に伴い、北海道内の景気が冷え込んだ影響を受け、売上高は前第2四半期連結累計期間に比べて1億円減(9.4%減)の9億7千2百万円となり、営業費用はコスト削減に努めたものの前第2四半期連結累計期間に比べて2百万円増(0.3%増)の9億8千6百万円となったことから、営業損失は前第2四半期連結累計期間に比べて1億3百万円悪化の1千4百万円となりました。

#### (不動産事業)

当第2四半期連結累計期間は、前第2四半期連結累計期間と同様に順調に推移し、売上高は前第2四半期連結累計期間に比べて4百万円減(1.5%減)の3億1百万円となり、営業費用は前第2四半期連結累計期間に比べて5百万円減(2.3%減)の2億3千3百万円となり、営業利益は前第2四半期連結累計期間並の1億7百万円となりました。

以上の結果、売上高は前第2四半期連結累計期間に比べて1億3千4百万円減(0.6%減)の232億4千万円となり、営業費用は前第2四半期連結累計期間に比べて1億6千5百万円減(0.7%減)の227億9千8百万円となり、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べて3千万円改善の4億4千2百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、3億5千1百万円減少の163億9千3百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が2億1千8百万円増加し、現金及び預金が6億2千2百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、16億9千万円増加の356億3千5百万円となりました。これは主として船舶が24億2千8百万円、機械装置及び運搬具が2億2千4百万円それぞれ増加し、土地が1億8千9百万円、建設仮勘定が7億4千9百万円、投資有価証券が1億2千3百万円それぞれ減少したことによるものであります。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、11億8千万円減少の199億1百万円となりました。これは主として1年内償還予定の社債が4億3千万円増加し、短期借入金が14億2千9百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて23億8百万円増加の193億3千7百万円となりました。これは主として社債が4億3千5百万円、長期借入金が2億5千1百万円、長期未払金が16億9千8百万円それぞれ増加したことによるものであります。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて2億2千6百万円増加の128億6千5百万円となりました。これは主として利益剰余金が1億9千3百万円、少数株主持分が1億2千7百万円それぞれ増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、通期の業績見通しにつきましては、平成26年5月14日の期初計画の公表時から変更しておりません。

**2. サマリー情報(注記事項)に関する事項**

**(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動**

該当事項はありません。

**(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用**

該当事項はありません。

**(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示**

該当事項はありません。

**3. 継続企業の前提に関する重要事象等**

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,285,634	5,663,099
受取手形及び売掛金	9,357,938	9,576,312
商品及び製品	47,589	48,191
原材料及び貯蔵品	326,689	342,764
繰延税金資産	217,678	215,619
未収入金	207,142	193,672
その他	326,239	375,396
貸倒引当金	△24,284	△21,549
流動資産合計	16,744,627	16,393,507
固定資産		
有形固定資産		
船舶	23,398,063	26,208,241
減価償却累計額	△15,814,151	△16,196,095
船舶(純額)	7,583,912	10,012,146
建物及び構築物	21,260,204	21,478,918
減価償却累計額	△15,501,792	△15,667,046
建物及び構築物(純額)	5,758,411	5,811,872
機械装置及び運搬具	8,233,366	8,557,535
減価償却累計額	△7,012,586	△7,112,738
機械装置及び運搬具(純額)	1,220,780	1,444,796
土地	7,445,896	7,256,467
リース資産	1,210,927	1,269,976
減価償却累計額	△500,355	△580,155
リース資産(純額)	710,571	689,820
建設仮勘定	788,988	39,451
その他	1,614,175	1,756,027
減価償却累計額	△1,409,919	△1,450,697
その他(純額)	204,255	305,330
有形固定資産合計	23,712,817	25,559,885
無形固定資産		
借地権	1,033,258	1,033,258
ソフトウエア	77,973	69,346
のれん	252,635	241,847
その他	119,504	108,516
無形固定資産合計	1,483,371	1,452,968
投資その他の資産		
投資有価証券	7,409,272	7,285,698
長期貸付金	3,875	2,322
繰延税金資産	374,262	365,419
保険積立金	585,735	595,208
その他	419,476	418,130
貸倒引当金	△43,804	△43,824
投資その他の資産合計	8,748,818	8,622,955
固定資産合計	33,945,007	35,635,809

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>繰延資産</b>		
社債発行費	61,069	75,666
繰延資産合計	61,069	75,666
資産合計	50,750,703	52,104,982
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,651,524	6,556,701
短期借入金	7,723,597	6,294,213
1年内返済予定の長期借入金	2,446,089	2,351,061
1年内期限到来予定のその他の固定負債	1,184,450	1,056,866
1年内償還予定の社債	1,018,660	1,449,160
リース債務	192,053	190,439
未払法人税等	440,066	453,168
賞与引当金	368,846	382,996
その他	1,057,277	1,167,333
流動負債合計	21,082,565	19,901,941
固定負債		
社債	2,939,340	3,374,760
長期借入金	5,368,866	5,620,743
長期末払金	3,316,969	5,015,156
リース債務	659,386	629,496
繰延税金負債	1,234,394	1,153,790
役員退職慰労引当金	653,007	661,987
退職給付に係る負債	1,872,872	1,937,809
負ののれん	764,035	723,491
その他	220,566	220,564
固定負債合計	17,029,438	19,337,799
負債合計	38,112,004	39,239,740
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,215,035	1,215,035
資本剰余金	893,800	893,800
利益剰余金	6,595,609	6,789,199
自己株式	△37,360	△37,790
株主資本合計	8,667,084	8,860,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,583,197	1,489,365
その他の包括利益累計額合計	1,583,197	1,489,365
少数株主持分	2,388,416	2,515,632
純資産合計	12,638,699	12,865,242
負債純資産合計	50,750,703	52,104,982



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	23,375,273	23,240,858
売上原価	19,937,017	19,720,556
売上総利益	3,438,256	3,520,302
販売費及び一般管理費	3,026,023	3,077,456
営業利益	412,232	442,846
営業外収益		
受取利息	356	261
受取配当金	94,995	93,628
助成金収入	68,942	50,401
負ののれん償却額	40,544	40,544
その他	30,125	28,328
営業外収益合計	234,965	213,164
営業外費用		
支払利息	182,026	194,332
その他	23,577	52,658
営業外費用合計	205,604	246,991
経常利益	441,593	409,019
特別利益		
固定資産処分益	4,626	398,086
保険解約返戻金	8,053	8,947
補助金収入	22,477	1,942
その他	13	890
特別利益合計	35,170	409,866
特別損失		
固定資産処分損	258	15,764
役員退職慰労金	14,760	—
厚生年金基金解散損失	—	26,528
その他	536	1,042
特別損失合計	15,554	43,334
税金等調整前四半期純利益	461,208	775,551
法人税、住民税及び事業税	235,134	416,862
法人税等調整額	△50,642	△23,289
法人税等合計	184,492	393,573
少数株主損益調整前四半期純利益	276,716	381,977
少数株主利益	36,565	125,397
四半期純利益	240,150	256,580

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	276,716	381,977
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	814,690	△84,086
繰延ヘッジ損益	7,937	—
その他の包括利益合計	822,628	△84,086
四半期包括利益	1,099,344	297,891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,040,507	162,747
少数株主に係る四半期包括利益	58,837	135,144

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	461,208	775,551
減価償却費	1,238,401	1,363,097
のれん償却額	10,788	10,807
負ののれん償却額	△40,544	△40,544
貸倒引当金の増減額(△は減少)	393	△2,714
賞与引当金の増減額(△は減少)	20,791	14,149
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△12,878	8,980
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△17,449	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	64,937
受取利息及び受取配当金	△95,352	△93,890
支払利息	182,026	194,332
固定資産処分損益(△は益)	△4,367	△382,322
補助金収入	△22,477	△1,942
売上債権の増減額(△は増加)	△64,213	△157,819
たな卸資産の増減額(△は増加)	△25,801	△16,677
仕入債務の増減額(△は減少)	313,907	△157,764
その他	△13,451	△48,462
小計	1,930,983	1,529,718
利息及び配当金の受取額	95,352	93,890
利息の支払額	△185,774	△179,676
法人税等の支払額	△258,887	△369,162
補助金の受取額	22,477	1,942
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,604,151	1,076,712
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,188,408	△3,251,047
有形固定資産の売却による収入	18,283	604,855
投資有価証券の取得による支出	△8,020	△7,534
投資有価証券の売却による収入	5,000	1,469
その他	△34,018	△33,071
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,207,163	△2,685,328
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	990,000	11,706
短期借入金の返済による支出	△949,112	△1,441,090
長期借入れによる収入	1,250,000	1,440,000
長期借入金の返済による支出	△1,425,066	△1,283,151
長期未払金の増加による収入	—	2,044,936
長期未払金の返済による支出	△408,670	△474,333
社債の発行による収入	1,281,053	1,374,387
社債の償還による支出	△507,600	△534,080
リース債務の返済による支出	△102,052	△103,645
自己株式の取得による支出	△242	△430
配当金の支払額	△63,005	△62,989
少数株主への配当金の支払額	△7,698	△7,928
財務活動によるキャッシュ・フロー	57,604	963,381
現金及び現金同等物に係る換算差額	△456	4,698
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	454,135	△640,535
現金及び現金同等物の期首残高	4,655,677	5,993,946
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,109,812	5,353,411

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	海運事業	ホテル事業	不動産事業	計		
I 売上高						
(1) 外部顧客への売上高	21,996,150	1,073,419	305,703	23,375,273	—	23,375,273
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	40,067	40,067	△40,067	—
計	21,996,150	1,073,419	345,771	23,415,341	△40,067	23,375,273
セグメント利益	216,177	89,375	106,680	412,232	—	412,232

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	海運事業	ホテル事業	不動産事業	計		
I 売上高						
(1) 外部顧客への売上高	21,967,001	972,792	301,064	23,240,858	—	23,240,858
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	40,126	40,126	△40,126	—
計	21,967,001	972,792	341,191	23,280,985	△40,126	23,240,858
セグメント利益又は損失(△)	349,309	△14,144	107,681	442,846	—	442,846

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 5. 補足情報

## (1) 最近における四半期毎の業績の推移(連結)

平成27年3月期

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	26年4月～6月	7月～9月	10月～12月	27年1月～3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	11,484	11,756		
営業利益	4	438		
経常利益	53	355		
税金等調整前四半期純利益	432	343		
四半期純利益	121	135		
1株当たり四半期純利益	円 9.62	円 10.75	円	円
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	53,106	52,104		
純資産	12,705	12,865		

平成26年3月期

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	25年4月～6月	7月～9月	10月～12月	26年1月～3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	11,512	11,862	12,327	11,561
営業利益又は営業損失(△)	△52	465	626	274
経常利益	27	413	634	211
税金等調整前四半期純利益	21	439	636	312
四半期純利益	33	206	338	168
1株当たり四半期純利益	円 2.65	円 16.41	円 26.83	円 13.35
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	49,147	48,498	50,087	50,750
純資産	11,579	12,171	13,116	12,638